

本校で行われた「県高校生介護技術コンテスト」について、南日本新聞に掲載されましたので紹介します。

コンテストが8日、さつま町の薩摩中央高校であった。5校から3人1組の1チームずつが参加。8月に熊本県である九州大会に出場する最優秀賞には龍桜高校(始良市)が選ばれた。優秀賞は加世田常潤高校(南



福祉を学ぶ鹿児島県内の高校生が介護技術を競うコ

5校の高校生 介護技術競う

さつま町

さつま市)だった。県高校教育研究会福祉部会の主催。新型コロナウイルス感染症対策のため、昨年続き実技は映像で、質疑応答はオンラインで審査した。写真。避難所で認知症の高齢女性を支援する想定の実技

で、薩摩中央高校の生徒は不安を和らげるための声かけを意識したという。福祉事業所への就職を希望する2年橋口優羽吏さんは「いい経験になった。相手の思いを考えて行動できるようにになりたい」と話した。
(右田雄二)